

平成 23 年度 (繰越) 強い農業づくり交付金 (食品流通の合理化) の実施状況について

23 繰越-1 秋田市中心卸売市場青果・水産・花き棟他

(1) 施設等の整備状況

- 事業実施主体 秋田市
- 地区名等 秋田市外旭川地区
- 整備施設 青果・水産・花き・管理棟 延37,124㎡
- 対象作物 効率的な市場流通
- 事業費等 440,981千円
(うち交付金 146,992千円)



(2) 成果目標の達成状況 (平成 23 年度繰越、平成 24、25 年度建設、平成 26 年度から稼働)

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム				
		計画時 (H22)	目標年 (H30)	1年度目 (H26)	2年度目 (H27)	3年度目 (H28)	4年度目 (H29)	5年度目 (H30:目標)
卸売市場再 編促進施設 整備 (青果 ・水産部等)	目標年度における取扱数 量が推計値を0.7%以上 超過	76,847 t	78,076 t	78,076 t	78,076 t	78,076 t	78,076 t	78,076 t
				65,362 t	63,411 t	59,143 t	57,388 t	59,345 t
				-934%	-1,093%	1,441%	-1,583%	-1,424%
中央卸売市 場施設整備 (花き部)	目標年度における取扱数 量が推計値を0.7%以上 超過	33,619千本	33,961千本	33,961千本	33,961千本	33,961千本	33,961千本	33,961千本
				32,839千本	31,986千本	31,376千本	30,330千本	28,197千本
				-228%	-477%	-656%	-962%	-1,585%

上段：計画 中段：実績 下段：達成率

(3) 事業の成果等

本市場は昭和 50 年 3 月の開設から 40 年以上が経過し、施設全体の老朽化が進行していたことから、緊急かつ重要な必要最低限の部分を本事業で改修したものであり、設備等の不具合が改善され、市場機能の維持が図られた。

成果目標の取扱数量については、青果・水産部、花き部ともに、市場外流通等の多様化や少子高齢化に伴う人口減少という潮流には逆らえず、成果目標を達成することができなかった。

一方、取扱数量の増加に向けた取組として、青果・水産部では、料理教室や試食会等による生鮮食料品の需要喚起や使用料 (売上高見合) 廃止による市場経由率の向上等により、平成 29 年度より取扱量は増加したほか、花き部では、今後の戦略として、園芸メガ団地からの集荷強化を行い、生産地の特色を生かした夏場の有力な供給基地を目指し、取扱量の増加を図ることとしている。